

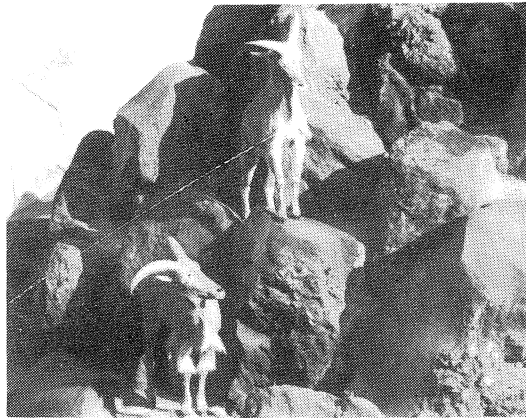
わがからこ

No.23

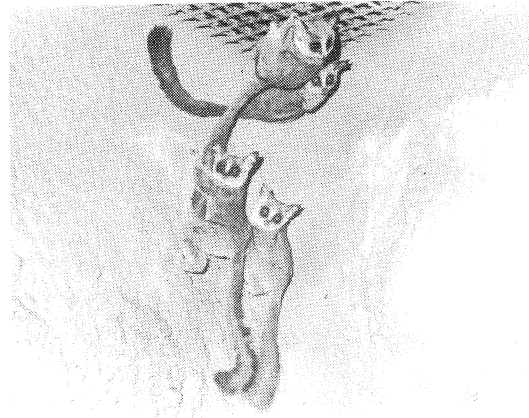
1983年(昭和58年)12月



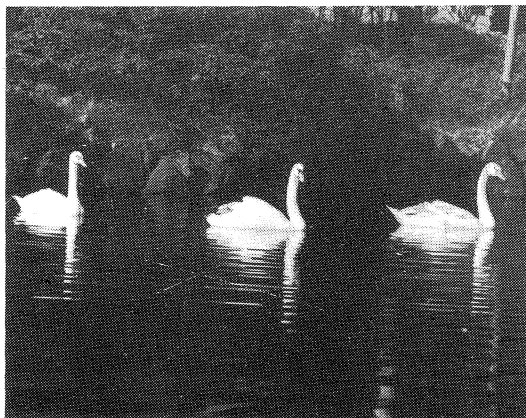
財団法人
鹿児島市動物公園協会



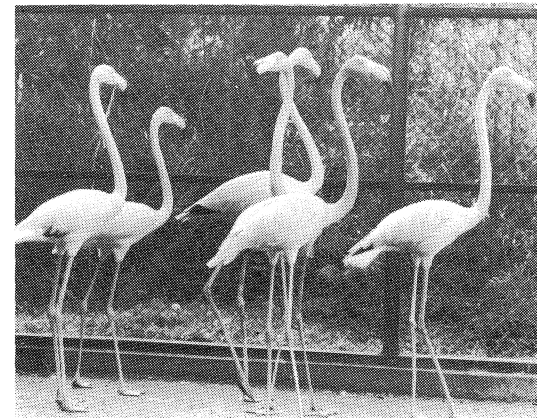
バーバリシープ(58・11・4 着園)



ショウガラゴ(58・11・4 着園)



コブハクチョウ(58・11・4 着園)

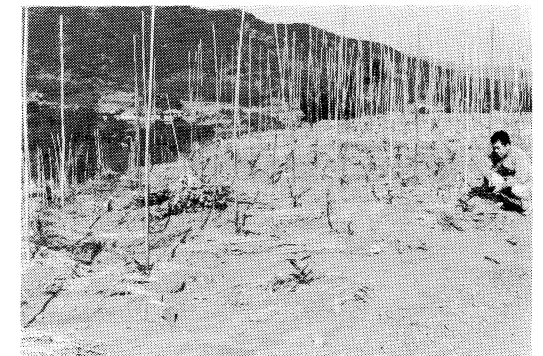


キューバフラミンゴ(58・11・14 着園)



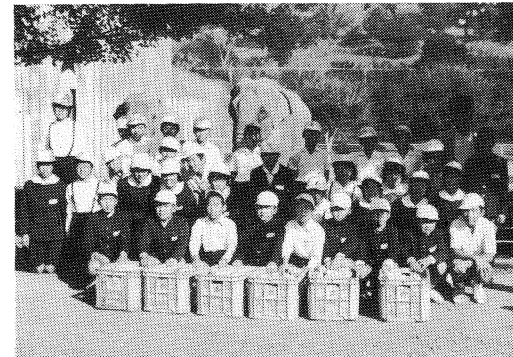
慰霊祭(9月23日)

動物愛護期間中の秋分の日、鹿児島市立中洲小学校児童会長の町田祐紀子さんが一日園長をつとめました。川畑園長から辞令を受け園内巡視後、動物慰霊祭で弔辞を読みました。



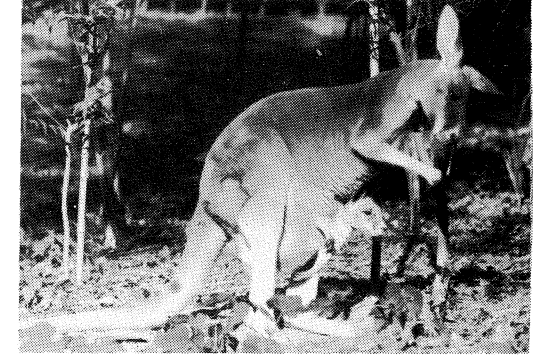
ユーカリ植栽(10月11日)

平川動物公園隣接の錦江湾公園に6種類約8000本のユーカリを植栽しました。これで12種12000本がコアラの餌として準備されたこととなります。



さつまいもプレゼント(11月11日)

川辺郡知覧町浮辺小学校の飯野正幸君ら児童35人が、ゆとりの時間に学校農園で栽培したさつまいも150kgをゾウさんにプレゼントしました。



アカカンガルー誕生(11月15日)

アカカンガルーの赤ちゃんが6カ月間の母親の育児袋の中の生活からやっと顔を出し、オーストラリア園の仲間入りをしました。



コアラ鹿児島にも！(11月24日)

オーストラリア訪問の日高助役らにクィーンズランド州ピーターセン首相が、受け入れ条件を前提にコアラ供給を約束しました。



コクチョウふ化(12月3日)

オーストラリア園のかたすみで抱卵していたコクチョウがふ化し、親に見まもられながら池の中を元気におよぎ回っています。

◀表紙

タヌキ (Raccoon Dog)
食肉目 イヌ科

アジア東部の特産で日本では本州、四国、九州、佐渡島に亜種のホンダヌキが、北海道には亜種のエゾタヌキがいる。頭胴長50~70cmで四肢は短くてずんぐりしている。嗅覚と聴覚はすぐれているが視覚は弱い。性質はおく病であるが幼時より飼われるとよくなる。雑食性で何でもよく食べる。

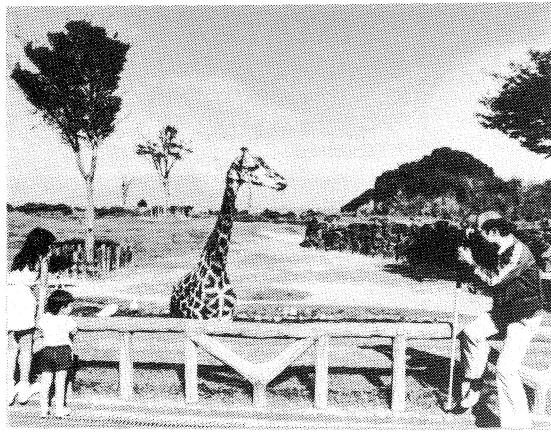
▼行事

12月29日~1月1日 休園日
1月2日 新春もちつき大会
1月2日~4日 新春お年玉大会

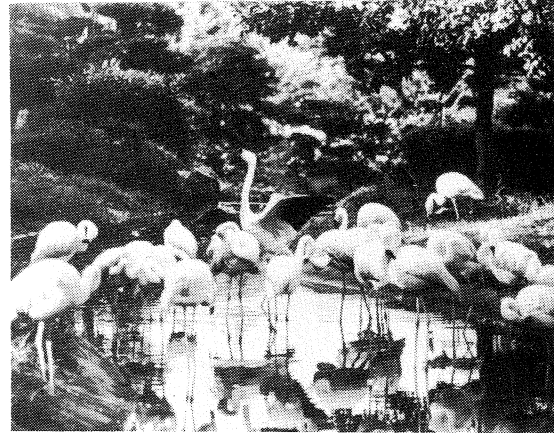
▼飼育動物数(昭58.11現在)

ほ乳類	76種	383点
鳥類	85種	595点
は虫類	6種	13点
計	167種	991点

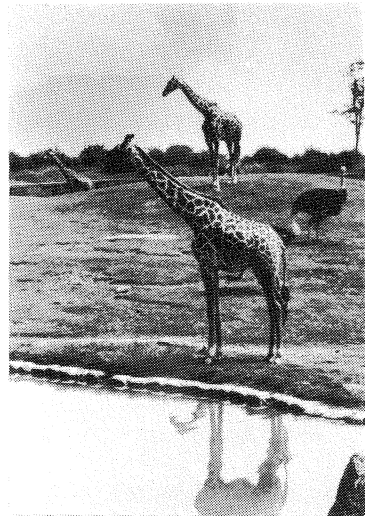
動物カラー写真コンクール入賞作品



最優秀賞 「きれいに写してね！」
市内明和三丁目 荻田勝郎



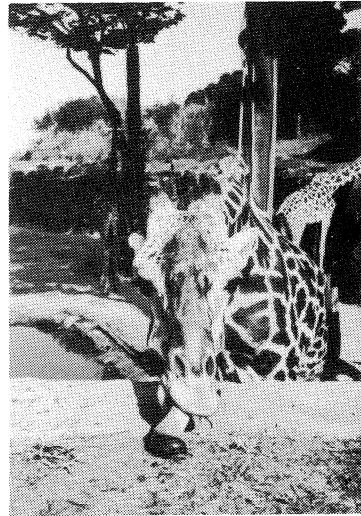
優秀賞 「午後のひととき」
市内明和四丁目 鮫島 孝



優秀賞 「キリンと桜島」
福岡市南区大橋 松本紀子



優秀賞 「リスザル」
市内下荒田四丁目 住 高秀



ちびっこカメラマン賞 「ながーい舌」
市内下福元町 芦沢はるみ

きれいで賞

市内西田三丁目	堤 直臣
市内鴨池町	馬場 広人
市内東谷山三丁目	家村 早苗

おもしろいで賞

市内若葉町	松崎 純一
市内下福元町	小原 洋海
市内玉里団地一丁目	中村 俊夫

わんぱくで賞

市内下福元町	小原 洋海
市内下福元町	芦沢シツ子
指宿郡喜入町	有村 国昭

おどろいたで賞

市内明和四丁目	鮫島 孝
市内明和三丁目	荻田 勝郎

ハイ！担当は私です

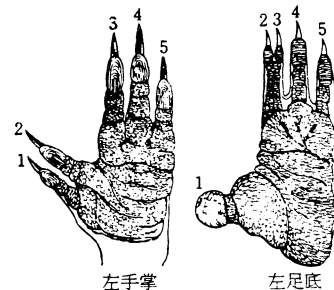


▲アカカンガルー

動物公園勤務2年目ですが、アカカンガルーのほか、オオカンガルー、ワラビー、エミウ、コクチョウ、ヒクイドリなどオーストラリア産の動物を担当しています。まだまだ未知のことばかりで勉強しなければならないことが多いですが、若さで頑張っています。今年もアカカンガルーが誕生しましたが、ここの広いオーストラリアコーナーをカンガルーでいっぱいにするのが私の夢です。動物の面倒のほかカンガルー放飼場に植えてあるユーカリ 300本の生育にも気を使っており、近い将来このオーストラリア園の一角にコアラがやって来ることを楽しみにしているひとりです。

飼育係 牧野憲仁技師

ミニ百科



新思潮社「世界哺乳類図説」より

コアラの手と足は、体に比べて大きく扁平である。手は第1・2指(親指・人さし指)が、他の3本の指と対向し枝を握るのに適している。指先には線状紋があり、手のひらはザラザラしており、すべりどめの役をし、肉球はない。また、それぞれの指には長く鋭いかぎ爪がある。

足は、第1指が太く短く、人の手の様に他4本の指と対向しているが、爪はない。他の4本にはかぎ爪があり、第2指と第3指はくっつき、比較的好く発達している。足うらは手と同様に、ザラザラしており、肉球はなく、指先には線状紋がある。

動物公園の顔



◀ エミウ (Emu)

ヒクイドリ目 エミウ科

学名: *Dromaius novaehollandiae*

生息地: オーストラリアの低木のある草原

形態: 現生の鳥類ではダチョウに次いで大きく頭高 1.5m ぐらい。雌雄同色であるが、雌の方がやや大きくて雌雄で鳴き声が違う。卵は重さ約 700g で暗緑色。ひなには黒いたて縞がある。

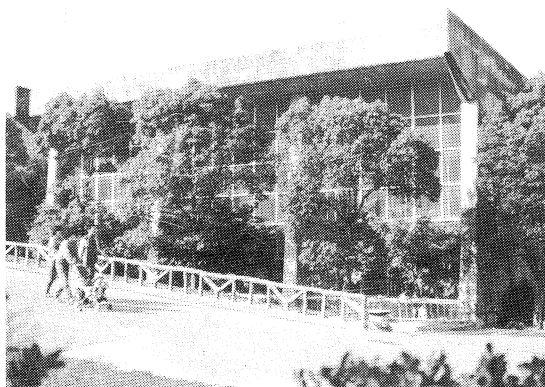
習性: 巣をつくるのは雄の役目で、雌は 8~10 個の卵を産み、それを雄が約 2 ヶ月間抱卵しヒナがふ化する。木の根や草、果実、昆虫などを主食とする。

● 動物公園施設案内 ●



▲ アフリカ園

桜島、錦江湾、鹿児島市街地を遠くに望む広さ 10,000㎡ の芝生の中にキリン、クロサイ、シマウマ、ダチョウ、フラミンゴ、カンムリヅル、ペリカンなどがたわむれている。キリンは長い首をのばして手の届くところまで近づいてくる。



▲ キリン舎

広さ 200㎡、高さ 8m の頑丈なコンクリート製であるが、南側は総ガラス張りであるため日光が充分はいり明るい。二部屋に仕切られロードヒーター、温風ヒーターが備えられている。うら側には補助運動場があり、ここを通り抜けてアフリカ園に出る。

表紙題字

鹿児島市長 山之口安秀

ひらかわ No.23 昭和58年 12月15日発行 第23号

発行所 鹿児島市動物公園協会

〒 891-01 鹿児島市平川町5669-1 ☎ 0992(61)2326~8

発行者 鹿児島市動物公園協会理事長 山之口 安秀

編集者 鹿児島市平川動物公園長 川畑 純徳

撮影: 梶原純一・酒匂 猛・鳥丸孝彦